

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社シーエックスカーゴ	事業所名	本社・桶川物流センター				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 01 ) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	毎月の排出量の把握とともに定めた目標値に対し、乖離した値があれば原因の追究と改善に向けた取組を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	商品管理部門との情報共有により車種適正化を図る。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく、自動車地球温暖化対策計画書等を提出するように依頼し、定例会で提出状況を確認する。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	新規取引先の選定時にISO14001やグリーン経営認証等の取得状況を確認している。未取得の事業者に対しては取得を推奨する。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ( )	営業倉庫に出荷品を取りまとめ、納品先ごとにまとめて出荷している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載便の利用や共同輸配送の取組	積載量に応じて路線便へ切替を行っている。 また、メーカー複数社と契約し営業倉庫として、全国の拠点へ共同輸送を実施している。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	事前の物量予測データをもとに適正車種で配車する。また全国を結ぶ幹線輸送においては、1週間前に商品管理部門から必要車種と台数の情報をもらい配車することで積載率を向上させる。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	決まった時間に受注データが届き、それを基に計画的な貨物輸送を行っている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路情報収集やETC2.0導入による渋滞情報を活用することで、効率よい輸配送経路へ迂回する。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	予約システムによるトラック出入りを管理し無駄のない配送計画を立てる。また物量が多いときは荷受け時間を早めるなど無駄な待機が発生しないようにする。	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ( )	関東⇄関西間、関西⇄九州間で一部フルトレーラー運行を開始し1運行当たりの積載率を向上。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	自社の車両を低燃費車に入替えるよう推進していく。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	定例会でエコドライブ活動の推奨を呼びかけている。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	ハイブリッドトラックの導入を行っている。また定期的にハイブリッドトラックによる実績を報告し、情報の共有化を行っている。AT車を除いた一部車両では、デジタルタコグラフでエンジン回転数を管理し、エコドライブを行うよう活動を進めています。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	敷地内の待機スペースへ駐車するよう案内している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ( )	発注、調達、在庫管理、在庫保管、仕分け、輸配送を一括して自社で行うことで物流の効率化を進める。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ( )	コンテナ輸送への切り替え	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ( )	運行支援システムで天候や道路状況の情報収集を行い、活用している。予約システムによる待機時間の削減を行っている。	○	○	○

### 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社シーエックスカーゴ	事業所名	本社・桶川物流センター				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	マイカー通勤に係る重点目標の設定 ( )	マイカー通勤率を3%削減する。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 ----- ( 02 ) 送迎バス等の運行	最寄駅から送迎バスを運行することにより従業員の公共交通機関利用を促進する。さらに運行時間の増便を検討しさらに利用を促す。	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 01 ) 自転車の安全利用の促進	運輸安全マネジメント取組みまとめを毎月配信しており、そのなかで自転車通勤者に対しても取り上げ安全面の注意喚起を実施している。	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 02 ) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	施設内に複数箇所設置し、利用しやすい環境を整えている。	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 03 ) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	自転車通勤者に限らず更衣室、個人ロッカーを整備している	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 04 ) 自転車通勤者への優遇策	2km以上の自転車通勤を行っている従業員に対しても通勤手当を支給している。	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- ( 01 ) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	自家用自動車の通勤の許可を2km以上とし、許可証を発行し駐車場では許可証を見える位置に掲示させ、無許可の通勤者を予防している。	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- ( 02 ) 従業員用駐車場の有料化又は駐車場台数の削減	駐車スペースには限りがあるので、新規採用者については自動車以外の通勤を促進する。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

05 エコドライブの推進	エコドライブ啓発ポスターの掲示や社内の会報などを使った活動を継続して行う。	○	○	○
( 01 ) エコドライブの啓発				
05 エコドライブの推進	社内の会報でエコドライブに係る知識向上を図る。	○	○	○
( 02 ) エコドライブ研修の実施				
06 従業員の通勤車両に関する低燃費車利用促進	通勤手当は1km当たりで支払うので、燃費の良い車で通勤するとメリットがある。	○	○	○
( 02 ) 低燃費車利用者への優遇策				
07 時差通勤の実施	シフトにより時差出勤を行い通勤時間帯をずらすことで交通量を分散させ、事業所周辺の渋滞緩和を図る。	○	○	○
( )				